



アナンシと知恵

- ✎ Ghanaian folktale
- 🌐 Wiehan de Jager
- 🗨️ Kohei Tsuji
- 💬 japonés
- 📊 nivel 3





昔々、人々は何も知らなかった。彼らは農作物の植え方も、服の縫い方も鉄の道具も作る方法も知らなかった。空に住んでいた神ニヤメが世界のすべての知恵を持っていた。彼はそれを安全に粘土の壺にしまっていた。



ある日、ニヤメは壺の知恵をアナンシにあげることにした。毎回アナンシは壺を覗き込み、何か新しいものを学んだ。彼はそれを楽しんだ。



強欲なアナンシは思った、高い木の上に壺を置いておけば安全だ。そして独り占めすることができる！彼は壺を長い紐でお腹に巻いた。木を登り始めた。しかしずっと膝の間で壺が跳ねて木を登ることは難しかった。



ずっとアナンシの若い息子は木の下で木を見ながら立っていた。そして彼はお腹の代わりに背中に壺を結んだ方が簡単ではないか? と言った。アナンシは背中に結び登った。それはとても簡単なことだった。



すぐに木の頂上に着いた。しかしそこで彼は止まり考えた、僕はすべての知恵を持っていると思っていたが、自分の息子の方が賢いじゃないか！ アナンシはこのことについて怒って、壺を木からほうり投げた。



壺は壊れて地面にバラバラに割れた。その知恵はみんなに自由に共有された。そうやって人々は農業や服の作り方や、鉄製の道具の作り方、そして他の知恵も学ぶことができた。



Cuentos para México

global-asp.github.io/storybooks-mexico

アナンシと知恵

Texto: Ghanaian folktale

Ilustraciones: Wiehan de Jager

Traducción: Kohei Tsuji

Este cuento se origina en el African Storybook (africanstorybook.org) y es presentada por Cuentos para México, que ofrece libros para niños en muchos idiomas que se hablan en México.

Esta obra está bajo una Licencia Creative Commons
[Atribución 3.0 Internacional](https://creativecommons.org/licenses/by/3.0/).